

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：特別支援教育費 目：学校建設費

事業名 可茂特別支援学校施設整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 特別支援教育課 環境整備係 電話番号：058-272-1111 (内 3554)

E-mail：c17783@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 342,368 千円 (前年度予算額：101,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	101,000	0	0	0	0	0	0	75,700	25,300
要求額	342,368	46,030	0	0	0	0	0	239,100	57,238
決定額	342,368	46,030	0	0	0	0	0	239,100	57,238

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・児童生徒180人規模を想定して整備されたが、児童生徒の増加に伴い、狭隘化への対応が喫緊の課題となっている。
- ・全校児童生徒数が264人、67学級で27教室不足している(R2.5現在)。
- ・これまで特別教室等を普通教室に転用して対応してきたが、これ以上の転用が困難な状況である。
- ・特別教室を転用しているため、各教科の授業に支障がでている。
- ・90人規模の職員室に143人が執務しており、産業医から執務環境の改善、職員休憩室の設置について指導を受けている。
- ・全校児童生徒の約7割が居住している可児市、美濃加茂市、富加町の人口は今後も減少しない見込みである。(統計課データによる)
- ・全校児童生徒の約1割が外国人児童生徒であり、増加傾向である。
- ・高等部の知的障がい生徒のうち、障がいの程度が軽度の割合が約5割であり、職業教育や就労支援体制の強化を図る必要がある。

(2) 事業内容

- ・可茂特別支援学校の狭隘化の解消を図るため校舎を増築する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・県立学校のため県が負担

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事委託費	16,461	造成工事監理費 2,897、屋外トイレ解体工事監理費 826、 屋外トイレ工事監理費 706、校舎増築工事監理費 6,280、 意図伝達業務費 5,752
工事請負費	324,660	造成工事 101,114、屋外トイレ解体工事 4,300 屋外トイレ工事 34,156、校舎建築工事 185,090
手数料等	1,247	屋外トイレ工事手数料 14、校舎建築工事手数料 538、事務費 695、
合計	342,368	

決定額の考え方

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
可茂特別支援学校の狭隘化解消のため、令和4年度を予定とし校舎の増築整備を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

1校の校舎整備であり、指標設置は適切でない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	校舎の狭隘化は切迫した状況にあり、校舎整備の必要性は高い。
○	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 狭隘化が顕著であり、計画的な施設整備により解消を図る。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 狭隘化解消に向け、計画的に校舎整備を実施する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	<div style="text-align: right;">【○○課】</div>
--	---